Patent Number:

JP54105248

Publication date:

1979-08-18

Inventor(s):

**INOUE KIYOSHI** 

Applicant(s)::

**INOUE JAPAX RES** 

Requested Patent:

\_\_ JP54105248

Application Number: JP19780012569 19780206

Priority Number(s): JP19780012569 19780206

IPC Classification:

A23L3/00

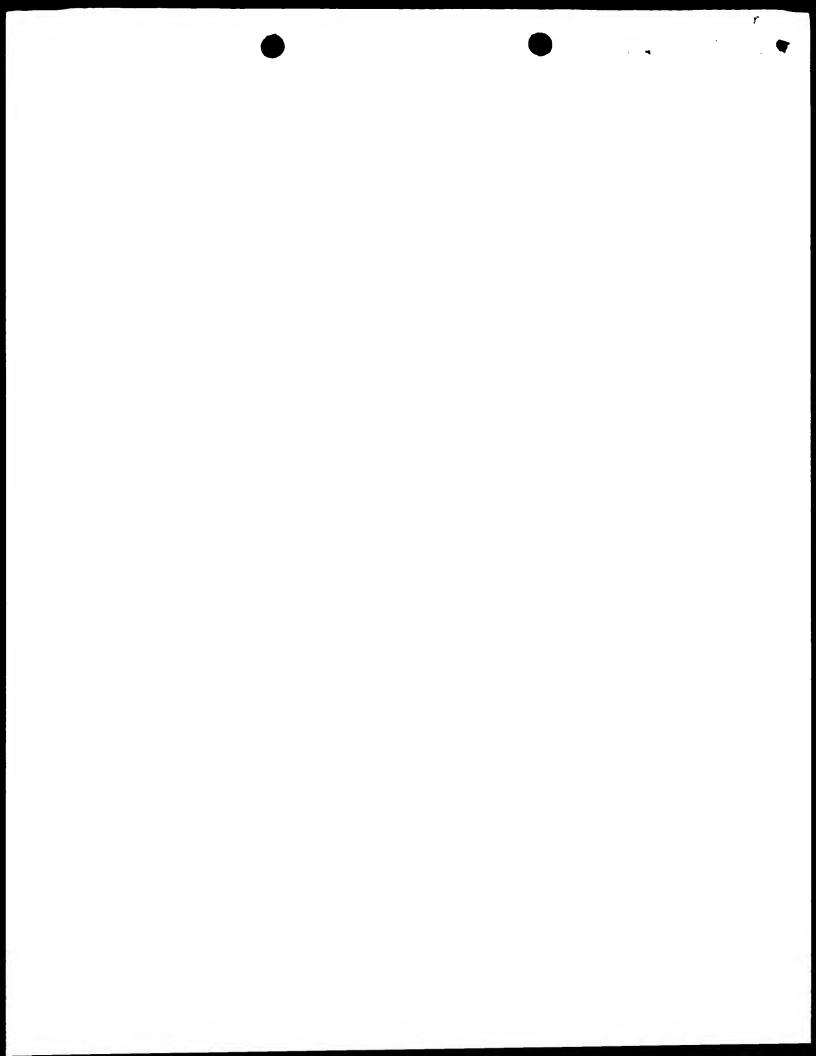
EC Classification:

Equivalents:

JP1298678C, JP60022903B

**Abstract** 

Data supplied from the esp@cenet database - I2



(9日本国特許庁(JP)

40特許出願公開

@公開特許公報(A)

昭54—105248

60 Int. Cl.2 A 23 L 3/00 識別記号 邻日本分類 101 34 A 14

6714-4B

庁内整理番号 69公開 昭和54年(1979)8月18日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

## 砂燻製の製造方法

題 8753-12569

创特 **2**Ш

顧 昭53(1978)2月6日

の発明 者 井上潔

東京都世田谷区上用賀3丁目16

番8号

⑪出 願 人 株式会社井上ジャパックス研究

横浜市緑区長津田町字道正5289

番地

1 堀嶼の名称

異態の製金方法

- 2. 存許滑泉の優保
- (1) 材料を成乾して複数する方法において、前 紀材料を冷却した状態で、コロナ、またはグ ロー策略を発生作用させることを根據とする 無望の引命方法。
- (3) 特別はりで以下に合助することを無付とす と中に将水の砂面は1項に記載の模型の製造
- (8) 我境々压以避免,交流,高频推,正原+在 用皮を切いるととを特徴とする特許損求の範 用点に住て記せの意製の製造方法。
- (4) 放電の発生を禁圧下で行えりことを特殊と する特許請求の非領は1項に記載の機製の要
- 5. 我明的醉期左便明

本名明は強敵の規治方法に関するものである。 従来の製造方法に設理の方法が知られているが。 いずれら相当長時間を必要とする。10日~20 日、物化とっては1ヶ月以上を見する。

本発明は他自時の祖祖、時間単位の推製規理を 行なりことを目的としたもので、材料を冷却し、 通常のと以下に冷却した状態で、クロー等の放電 を作用して機能するととが有效で、これにより急 選に疫時期に顕彰することができ、水分は充分少 なくでき、保存効果が良く、風味、色調等が従来 の指摘接然と比較して労るととのない嫌難品を作 るなとがてきる。

以下越面の一裏時例だよって説明すると、1は **毛足を参で、気を化保たれ、内部をプロアー2等 忙より破圧され、また福鼎される。31、32、33、34** 対対な知識する多数の何で、これは逆りが良く 産幼するように金調または金剛製品子が用いられ、 典性を移義様にしっかり過定する。客幣!が金剛 製の場合は絶種プッシュ4にて絶難して収付け、 とれば高度圧を加えて数量させる。即ち多数の各 病型SI~SI性放電水程を未用するものである。 

特開唱54-105248位

存で処理する。環材にはそん母ぎもり州町の多い ものはよくないので、針葉樹より広集樹が、また やからかい木よりかたい木の方がよい。カン、ナ ヲ、クスギ、アナ、タルミ、ラワン等が良いとさ れている。風材を根格をせることによって低が悪 生し、ノメルでから多茶」内状硫酸し、吸り化よ 为材料技术但重机无状难忆左右。明丝容额上内针 **市盛が後色するパイプをによって特別され前記符** 科山村市部状形全保与、精和状理で強力で漢言れ る。そして材料日を根皮する側目~以予催棄とし て品用収益密裝 6 より温度数の高電圧が印加され。 コロナ またけがコー放性が発生し、時代容易内 を検圧,枚銭にしておくとチョー放電が良く発生す る。コック10の切像によってブロアースによる吹 引力以私外化研发すると详惯内收 0 1~10 0 forr 程度化废压收取化力为容易化グロー附属分配方式 ることができる。 こうして堪な~34 を発安として 集出する数据は概能した材料は足よく無別され、 作用し、使りいぶしなから能煉させる。これと共

異が果われ、凡つ徒りの中にある防腐成分を受済させる。

とのような乾燥効果は、前配のように高周破賦 単を利用するから放在々或が大きくが朴儿の表面。 ま効率良く急速に水分を蒸気化し、イオン扇告を 作用させながら聴動するから着しく急運に行なわ れ、中却することにより材料はなるまりを絵玄形 することなく現水し乾燥し葡萄放焦作用を受ける から既水効果もよく無道に乾燥される。また南面 により乾燥塩機中の酸化反応、健康反応等が防止 され、この希別状報で乾燥されるから風味が成ち ることがない。また材料はへの無り成分の設備を、 映りを凋削皮放戦によりイオン化し、同時に形成 する高電圧電狂の作用で開催的にクーロン力を作 用して戦者させるから数潜効果は高く、急速化行 なわれ、また電気投稿。放散等の作用もあり、統 中のホルムアルデヒド、フェノール、クレオソー と子の附編以分が材料中によく反張する。

こうして冷却と成本の作用で材料11分容易に急 遊れ配徴状体にすると共に、ほりの特有の智味。 色調をもたせ、筋膜成分をしみとすせ供存性を向上させる環境処理をすることができる。

サケ、エシン等の順数円階において、後来3ケ月~1週間程度を使していたものが、本勢的によるともは6~3時間程度で処理でき、無限、色調も技術の環境無常によるものに比べておらない点野な機能ができた。被電は0~1 torx の原生中で100~300 V/cmの電圧を別えてメロー放客を発生させたとき時に効果があった。明理中の材料母度は~4で以下に保って明地した。

な知識者は終期度の的代産院、パルス、変配、 電風・低間放埓も利用でき、成正するととによっ で主としてダロー教職が発生し、地区による酸化 砂也、設水促進等の効果、単症による機能発生物 乗等により機し効果、すた電機動架が高められる。

また機材の低り中に含まれるが破り水ルムアルデェド、メメノール、アセトン、フェノール、タレオソート等の有効成分を集合した。本材を設備して収った有効成分の多い原本、ガスを処理容符内に購入しば吸吸数をせながら繊維することもで

э も。 過程不審内の項圧を充分構製した状態でコックを開き構入するようにすれば有効成分の需要が上り、 体し効果を削上する。 また他が存むしていたり、 本しのですることによって根原効果が上るが、 給 めにこれよりも低く 体気してかけばだり、ガス放気帯を導入して終幕に目的とする原定の機圧を明気にすることができる。

4. 巡查の需单な程明

村前在本来明の一要新機構成例である。 1 は研究所は、まはプロアー、31~34は場、4 は 絶種物、5 は応圧電域、5 は高明度発布器、7 は 申唱入ノズル、8 は冷疾バイブ、9 はダクト、10 はコック、11 は材料である。

